

平成20年度に指定した飼料用トウモロコシ優良品種

【成果概要】

飼料用トウモロコシの早生品種「スノーデント110 (LG3520)」、中生品種「バイオニア115 (34B39)」は標準品種よりも収量性、耐病性に優れます。

表1 生育的特性及び形態的特性

早晚性	品種名	播種日からの日数		播種～黄熟期までの所要積算温度(℃)		かん長 (cm)	着雌穂高 (cm)
		絹糸抽出期	黄熟期	有効	積算		
早生	LG3520	78	122	1166	2405	287	135
	36B08 (標準)	74	119	1140	2339	238	104
中生	34B39	79	125	1197	2465	291	139
	セシリア (標準)	80	128	1220	2512	270	145

H17-19の平均値

表2 病害

早晚性	品種名	病害特性					
		スス紋 (1-9)	ゴマ葉 (1-9)	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	紋枯病 (%)	萎縮病 (%)
早生	LG3520	2.0	2.1	0.3	0.0	8.5	0.0
	36B08 (標準)	1.4	1.7	0.4	0.0	12.5	0.0
中生	34B39	1.8	1.9	0.1	0.7	9.6	0.0
	セシリア (標準)	1.8	2.1	0.2	1.6	11.8	0.0

H17-19の平均値

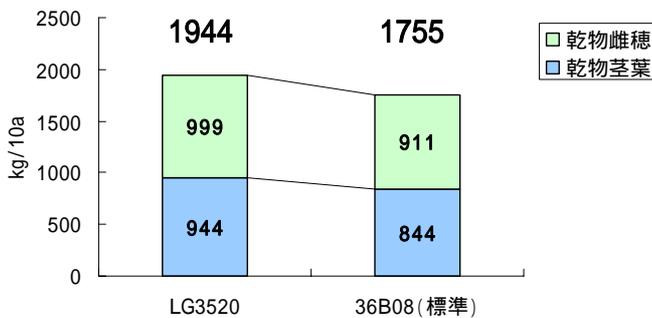


図1 早生品種の収量性

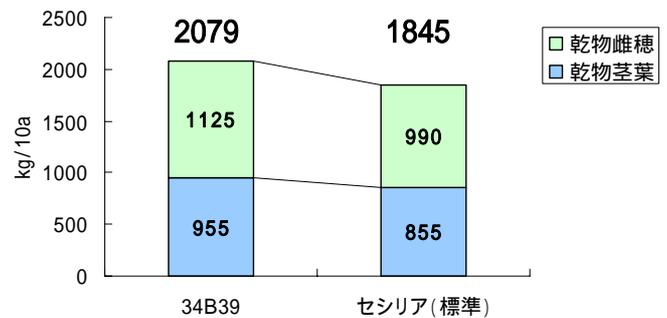


図2 中生品種の収量性

【留意事項】

10a 当り栽植本数

早生品種：7000 本

中生品種：6500 本

【適応地帯】

早生品種：県中・北部の標高 500m 以上を除く県下全域

中生品種：標高 500m 以下の県下全域